

「2025年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2024年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市・中核都市名	札幌市		
高校入試 担当部署名	札幌市教育委員会学校教育課程担当課高等学校担当係		
TEL	011-211-3891	FAX	011-211-3861
URL	http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	今田滋代 (所属: 札幌子ども日本語クラブ)
--------	------------------------

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)								なし		なし		日本籍生徒のみ
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)								①定員内		①定員内		①定員内

I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハラ以南の国生徒	C.海外帰国生徒
1.2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	無	無
2-1.2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	有	有
2-1.2025年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		×	×	×
2-1の名称				
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限				
2-3.措置の内容				
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		海外帰国生徒枠に含まれる	海外帰国生徒枠に含まれる	海外帰国生徒枠に含まれる
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		「外国籍を有する者で、来日後5年未満の生徒」及びこれに準じる者と市立札幌大通高等学校長が認める者	「父母のいずれか一方が引き揚げ者であり、引き上げ後5年未満の生徒」及びこれに準じる者と市立札幌大通高等学校長が認める者。なお、引揚者とは、永住帰国者証明書を有する者をいう。	「日本国籍を有する者で、海外在留者に同伴して、引き続き1年を超える期間海外に在留し、帰国後3年未満の生徒」及びこれに準じる者と市立札幌大通高等学校長が認める者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		1校/全校1校	外国人生徒と同様	外国人生徒と同様
3-4.学校名		市立札幌大通高等学校	外国人生徒と同様	外国人生徒と同様
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	定員内に海外帰国生徒枠5名程度を含む	外国人生徒と同様	外国人生徒と同様
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		○	○	○
3-7.試験内容		自己推薦入試一面接及び作文 (海外帰国生徒等枠で出願した場合は英語・中国語・ハングル・ロシア語等により作文を提出することができる)	外国人生徒と同様	外国人生徒と同様
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	有	有
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		受検者数 13 合格者数 11 ※D,E,Fを合わせて		

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input checked="" type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	札幌市帰国外国人児童生徒教育支援事業から日本語指導協力者の派遣有り
上記に該当する実施校の校数等	1校	
補足事項		
2-1.「1-2のA」において特別の教育課程での日本語授業を行っている?	いない	
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名		
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか? ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など	無	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有	8人
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	学校長の判断により、中学校卒業程度と同等以上の学力があると認められた場合
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	学校長の判断により、中学校卒業程度と同等以上の学力があると認められた場合
3.上記のI II特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受検(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>札幌市においても、近年日本語指導を必要とする児童生徒は急速に増えている。背景の多様化や長期滞在、定住化傾向も顕著であり高校進学の生徒も増えている。唯一の特別入試枠を有する市立札幌大通高校の受験資格となる来日5年以内に該当しない生徒も少なくない。大通高でも合格者数を増やすなどの努力をしているが、同校一校だけでなく道立、市立全日制高でも特別枠を設け入学後の日本語学習支援態勢を整えることが求められている。日本語指導が必要な生徒たちにとっても自身の将来に向けて高校進学の道を選択できるような環境が整えられるよう望みます。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>最近では私立高校進学を選択する生徒も増えている。全体的には入学後の日本語支援始め教科学習補助などへの心配があるが、最近、市内でも日本語支援の対応をするようになった私立高校もある。また、私立高にIB(国際バカロレア)コースのある学校もあり、2024度には1名が進学している(札幌市帰国外国人児童生徒教育支援事業での対象生徒)。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>・各中学校の進路指導教員など ・ボランティア団体「札幌子ども日本語クラブ」 http://sknc.skr.jp</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>札幌国際プラザでは、「コミュニティ通訳」派遣をして学校、保護者の教育懇談等における言葉の壁の解消に努めている。</p>
<p>5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。</p>	<p>ボランティア団体「札幌子ども日本語クラブ」では、2001年の設立当時から高校入学特別枠の設置等を働きかけてきた。また札幌市においても2008年開校予定とされた「仮称・北海道札幌新定時制高等学校基本構想」には、「海外帰国生徒等の日本語力が十分でない生徒への個別指導等、指導の工夫」が教育課程編成の基本方針に盛り込まれた。その後市立札幌大通高校開校(2008年)では入試選抜に「海外帰国生徒等枠」が設けられた。これにより、帰国・外国人、中国帰国生徒等への高校進学の道が大きく開かれた。また、入学後も学校設定科目の日本語の授業も組まれている。</p>
<p>6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>2023年度には札幌市教育委員会主催、札幌国際プラザ協力で「帰国・外国人児童生徒教育支援事業高校進学ガイダンス」が開催された。2024年9月には第2回目のガイダンスの開催となった。進路に関する基本的情報提供が目的であり、英語と日本語による説明、その他の言語での通訳補助の対応があった。参加した小学校高学年から中学生、その保護者が熱心に説明を聞き、保護者や受験生自身からも多くの質問もあった。今後も高校進学生徒の増加に伴い、同ガイダンスに一層の進展が期待されます。</p>